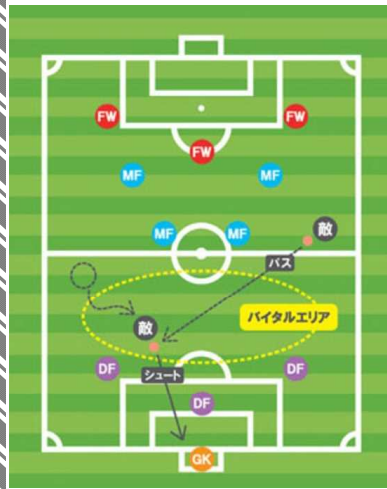




http://www.minamih.net/  
15・5・30(土)  
南NEWS NO19

## Vital Area



Vitalとは、極めて重要な・エネルギーな・命に関わるというような意味があります。

Vital Areaでエネルギーに動けないチームは点も奪えない、失点を防ぐこともできないこととなります。

とても重要で勝敗を左右するエリアで戦えないチームは勝利の果実を手にはできないのです。

by南のアンパンマン

## 少女春季カップ戦<リーグ戦>

●南八王子 0-5 樺 (前半0-1)

○テーマ

攻撃①一人一人がボールを持つ/突破、スペースへ運ぶ、ターン、キープを徹底して行う②ボールを持っていない選手はボールを持っている選手を追い越す/厚みのある攻めをする

守備①マークの徹底/自分のマークする相手を素早くつかむ/マークした相手に負けない②第一DFの判断・実行/素早いアプローチ & アタック

相手のプレッシャーが早く、思うようなプレーができませんでした。前半は何とか1失点に抑えていましたが、後半攻めたてられてしまい更に4点を失いましたプレッシャーが早いことであわててしまい、意図なく蹴ってしまう、簡単にボールを失うシーンが観られました。

それを無くすには強い相手との試合経験を積むこと、そして普段の練習で早いアプローチ・プレッシャーを味方選手にかけることです。試合で起こるような状況を練習から作り、対応力を身につけましょう。

by加藤コーチ

○南八王子 15-0 なかのY (前半5-0)

○テーマ

攻撃①一人一人がボールを持つ/突破、スペースへ運ぶ、ターン、キープを徹底して行う②ボールを持っていない選手はボールを持っている選手を追い越す/厚みのある攻めをする

守備①マークの徹底/自分のマークする相手を素早くつかむ/マークした相手に負けない②第一DFの判断・実行/素早いアプローチ & アタック

相手のなかのYさんは4年生以下で構成されたチームです。ほぼ全員が得点して勝利し、2位で準決勝に進出することができました。得点はたくさん取れましたが、攻撃のめあての達成物足りません。もっともっと自分でやるという意識とやろうと決断して行う突破やターンをしっかりと成功させるための技術、両方を向上させましょう。

by加藤コーチ

## トレーニングマッチ高尾SC 5/6年生

5月24日(日) @旧稲荷山小

6年生の部

○めあて コーチング ゾーンプレス リテイク

<試合結果>

第一試合; 0 ▲ 1 (前半0-0) 20分ハーフ

第二試合; 0 ▲ 2 (前半0-1) 15分ハーフ

第三試合; 1 ○ 0 20分1本 得点; 堀君

DF 大久保君の中央突破にて相手を引き寄せて、フリーとなっていた右MF 堀君に絶妙なパス。ペナルティーエリアでパスを受けた堀君が冷静に相手DFを右アウトのフェイントでかわし角度のない右からゴールを決めました。DF 大久保君 → MF 堀君のシンプルなコンビネーション攻撃が成功した得点でした。

<課題>

ここ数試合のめあてとして、攻撃面でビルドアップ → ペネトレーション(崩しの形)に取り組んでいます。ボールを奪った後に、何ら状況判断のない、縦へのドリブル突破で簡単に相手にボールを奪われてしまうことが多い。ビルドアップのために「突破のドリブル」「キープするドリブル」の使い分けが課題です。「キープするドリブル」に必要な技術は、スクリーン、ターンです。ボールを相手にさらさず、懐に置きながら、ドリブルの最適な進行方向(横や斜めの相手から距離をおける方向)を状況判断していく力を身につけていきたい。3試合目では小松君や大久保君は、キープするドリブルの意識ができ実践できていました。

## <試合評>

東京都U12トップリーグで活躍されている高尾SC(6年)と良い練習試合をさせていただきました。守備面が安定してきており、大きな決定機を作らせませんでした。成長しています。7月から再開されるU12後期リーグまで約一ヶ月間あります。それまで守備面の更なる安定(ゾーンプレスの完成)、攻撃面の強化(ボールをキープしてから展開)を全員が強く意識して練習・試合に取り組んでいこう!!

by中野コーチ